

<既存道路、建物等の状況>

地形図に記載のない神社



対岸の集落



公道から調査対象地方向への既存道路



国道32号からの分岐



公道沿いは田畑のみ

- ・国道32号から公道を經由して調査対象地に至る
- ・公道区間は、幅員狭小(約3.0~3.5m程度)の未舗装道路であり、公道に面して、田畑が確認された(隣接する住家や倉庫等は無し)
- ・河川を挟んだ対岸には、集落、地形図に記載のない神社が確認された

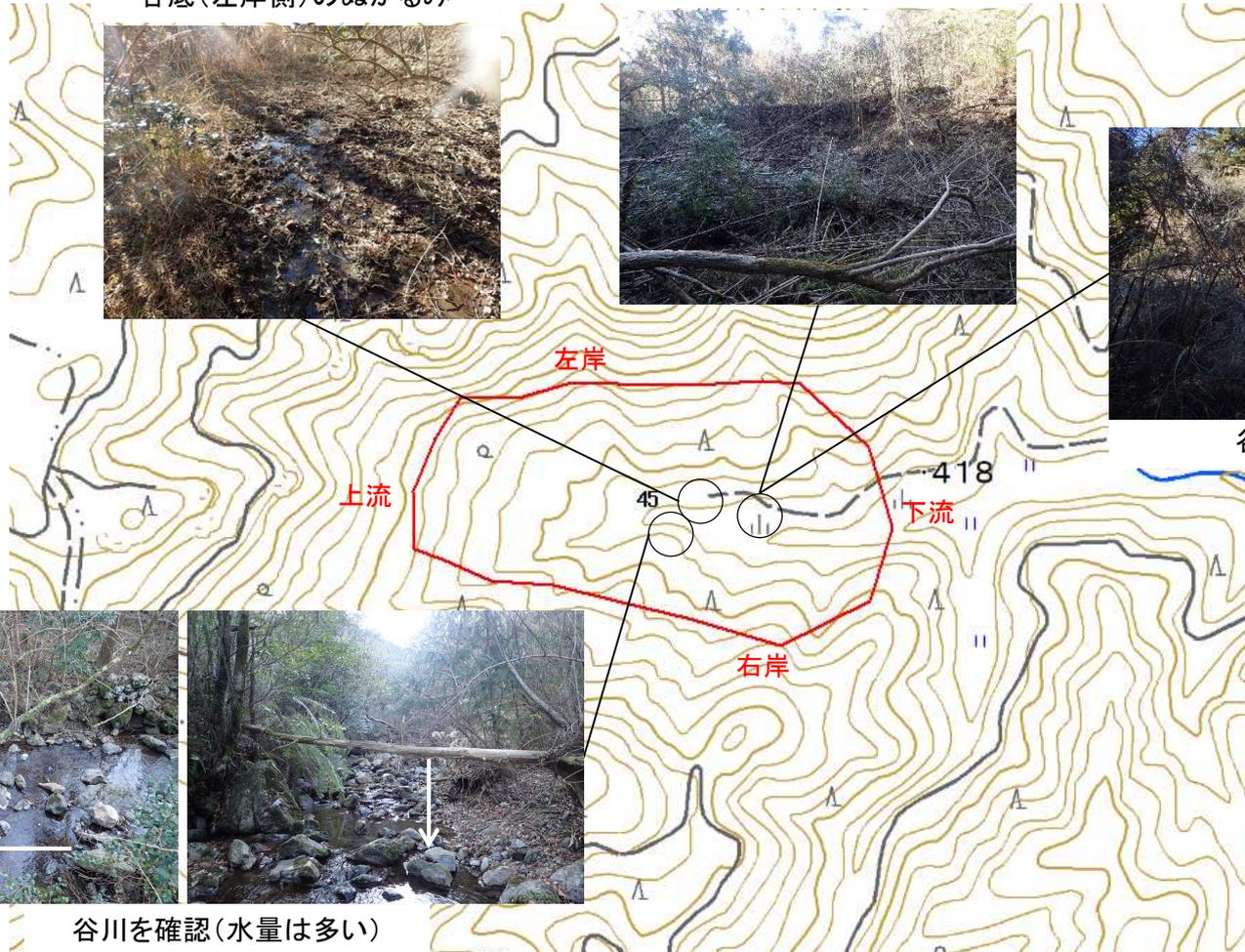
谷底(左岸側)のぬかるみ



谷底の状況(石積み)



谷底の状況



谷川を確認(水量は多い)

- ・調査対象地は、広がりのある谷地形であった
- ・調査対象地内に谷川(下流部の幅は約7m程度)が確認され、その水量は11箇所のうち最も多い
- ・谷底の左岸側は、段々畑跡と思われる平坦部が広がっているものの、谷川沿いは全体的にぬかるんでいた
- ・表層崩壊跡である可能性がある勾配の緩い斜面が、左岸斜面の広範囲に見られた

<既存道路、建物等の状況>

市道(橋梁)



市道の状況



地形図に記載のない神社



集落を通過



国道からの分岐



地形図に記載のない小屋

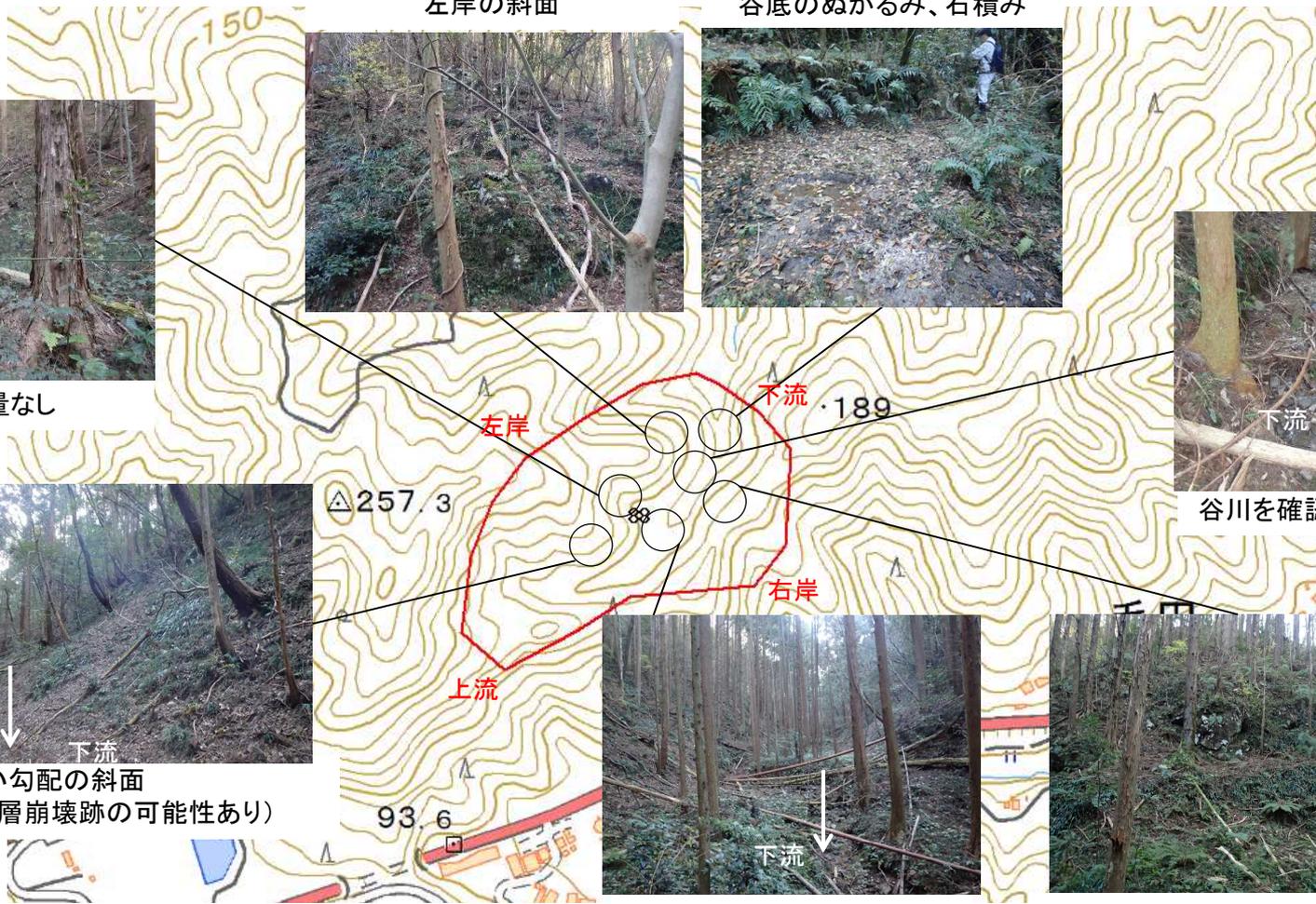


地形図に記載のない小屋

- ・国道32号から市道を経由して調査対象地に至る
- ・市道区間は、集落を通行することとなり、市道に面して、住家(6軒)、空き家と思われる住家(6軒)、倉庫等(7軒)、墓地(3箇所)、田畑が確認された
- ・市道は、橋梁(3橋)が確認され、幅員狭小(約2.5~3.5m程度)、線形不良であった
- ・地形図に記載のない小屋、神社が確認された

左岸の斜面

谷底のぬかるみ、石積み



支流は水量なし

谷川を確認(水量は少ない)

下流
緩い勾配の斜面
(表層崩壊跡の可能性あり)

谷底の状況

右岸斜面の岩塊

- ・調査対象地は谷地形であり、谷底の幅は約13～15m程度と狭く、兩岸の斜面角度が急であるV字形の谷であった
- ・調査対象地内に谷川(中流部の幅は約2.0m～2.5m程度)が確認され、水量は少ない
- ・谷底は、中流から下流において、段々畑跡と思われる、全体的にぬかるんでいた
- ・中流部の左岸斜面には、表層崩壊跡である可能性がある勾配の緩い斜面が見られた

<既存道路、建物等の状況>



国道33号からの分岐

町道は集落を通行するが、住家と河川に挟まれており、拡幅は難しい

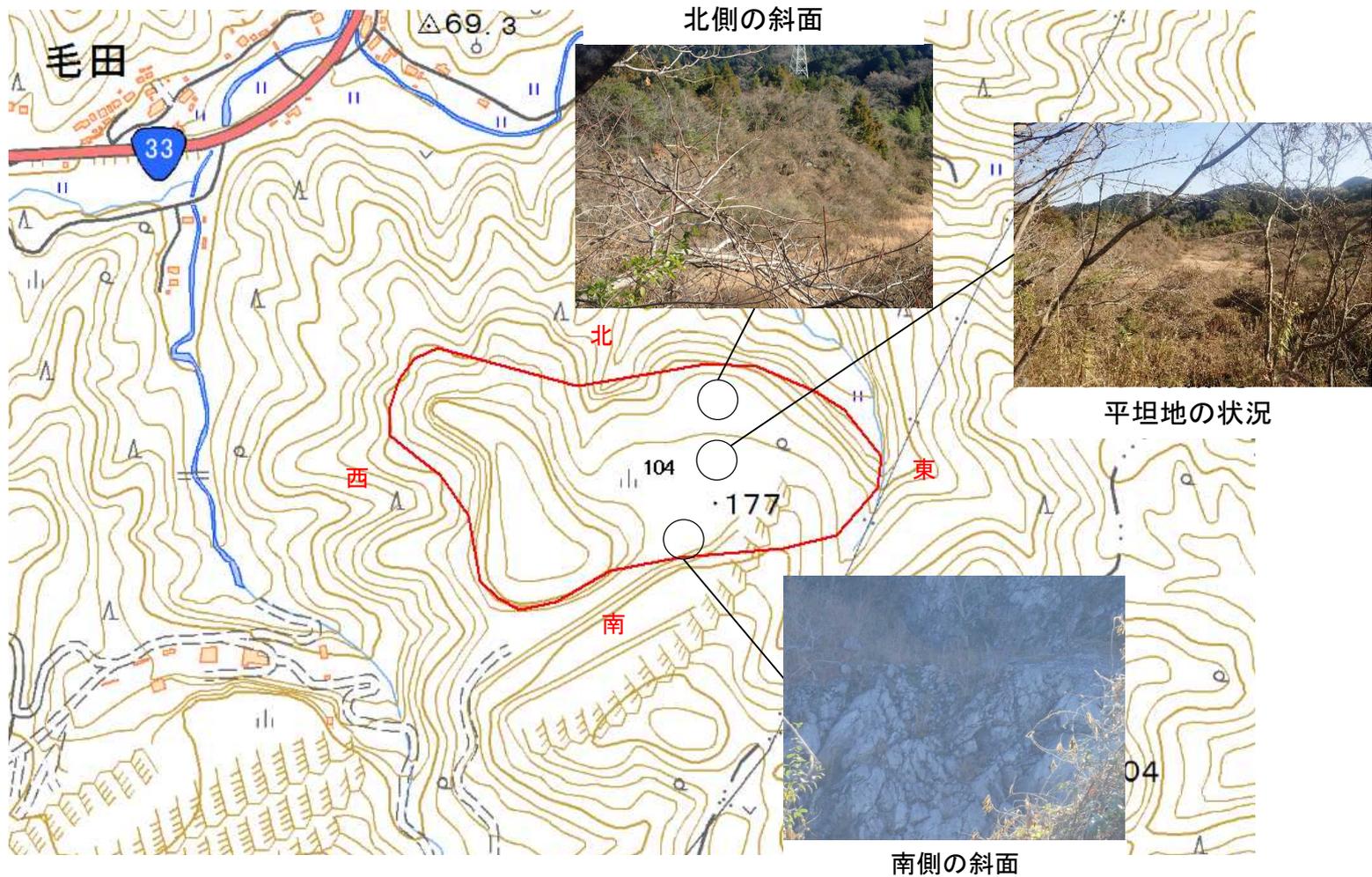


町道(橋梁)



町道(未舗装)

- ・国道33号から町道を経由して調査対象地に至る
- ・町道区間は、集落を通行することとなり、町道に面して、住家(12軒)、空き家と思われる住家(3軒)、倉庫等(13軒)、墓地(2箇所)、田畑が確認された
- ・町道は、橋梁(3橋)が確認され、幅員狭小(約2.0~3.0m程度)、線形不良であり、住家と河川に挟まれている



- ・調査対象地内は中央部が広い平坦地であり、その四方を取り囲む尾根があり、下草に覆われた盆地の形状であった
- ・鉱山の採掘跡地であった

<既存道路、建物等の状況>

立入禁止の看板



- ・国道33号から調査対象地までの道路は、「関係者以外の無断立入禁止」の看板があり、進入道路(鉾山専用道路)の確認はできなかった
 - 地形図では調査対象地までの道路が記載されており、航空写真でも道路の存在が確認できる
- ・地形図に記載のない神社が確認された